

令和8年度（2026年度）熊本県立芦北高等学校 第2学期始業式

校長あいさつ

令和8年（2026年）8月28日（金）草野 貴光

皆さん、おはようございます。まずは、今日、皆さんに会えて本当に嬉しく思います。今年の夏休みは試練の日々となりました。

夏休みに入り10日ほどが経った7月28日（火）16時27分、震度7の地震が宇城市を震源に発生、その被害は甚大です。お亡くなりになられた方々の御冥福をお祈りするとともに、被災をされた皆様に心からお見舞いを申し上げます。一日でも早い復旧と復興を願ってやみません。

また、8月13日に千葉豪雨が発生して大きな被害がありました。昨日は北陸地方で豪雨が発生し、被害がありました。皆さんとともに心を寄せたいと思います。

生徒の皆さんと先生方、たくさんの人たちが被災をしました。大変なご苦勞をされ、それは今でも続いています。生活を元に戻すのは並大抵のことではありません。見慣れた風景に地震の大きな爪痕を見ると胸が締め付けられます。

自然の力、地球の力は凄まじいと実感しました。しかし、人の力も凄い。人は力を合わせ、知恵を出し合い、寄り添い合い、助け合い、大きな力を発揮していきます。これからの復旧と復興の様子を見ながら感じていきましょう。

生活の基盤を支え、貴重な通学手段で全校生徒の半数以上が利用している「肥薩おれんじ鉄道」は昨年に続き大きな被害がありました。代替バスを運行されながら、懸命の復旧作業が行われています。生徒の皆さんには、不便を掛けていますが、元に戻すことを願い、応援しながら元の状況を待ちましょう。

学校は安全点検を受けて安全に使用できると確認されています。しかし、校舎にヒビや天井材のズレ、昇降口に段差などがあります。危険個所を確認しながら生活していきましょう。

今、私たちにできることは何でしょう。まずは、あなたが元気に過ごすこと。それが家族や近くの人々の励みになります。胸に苦しさを抱えている人に気付くこと、その人の話を聞くこと、その気持ちに寄り添うこと、復旧のために一生懸命に仕事やボランティアをされている人に感謝すること、「ありがとうございます」と言うこと。学校は人が共に学び合う場所であり、心を育む場所です。この体験から半歩ずつ成長することが、今、私たちにできることです。

さて、9月から12月までの約4か月間の2学期について、意識してほしいことが4つあります。

1つ目、成長の速度は違いがあります。明確な目標を持てばぐっと歩みを速め、時間はすぐに過ぎていきます。もしも、今の場所しか見ていなかったら、同じ所で足踏みをしてしまい、時間を長く感じられます。今の自分と未来の自分の姿を見据えて、自分自身と語り合うことが大切です。今、自分と語り合う訓練をし、その習慣を身に付けておくこと。そうすれば、自分の信じた道を確実に歩め、将来の自分の姿の輪郭も見えてきます。もし、自分とうまく語り合えないときは、人と話してみればいいのです。自分の口から出た言葉を自分は聞いています。面談週間の活用もその一つです。

2つ目、長期休業の後に全国で小中高生が自ら死を選択するという悲しいことが起こっています。不安や心配なことが自分にも起こりえることを知っておき、自分としっかり語る。そして、何でも信頼して話せる人に話すと目の前にいる人の体温を感じられ、気持ちが少し軽くなります。

3つ目、先の戦争から81年が経ちました。悲しいことに世界では戦争が起きています。私たちは戦争を経験していない世代だからこそ、平和を愛し、平和の大切さを感じて生きていくことができます。

4つ目、9月は命と人権について特に心掛けます。10月、11月は人ともめることが起こりやすい時期でもあります。自分と向き合えずに他の人に目を向け過ぎてしまい、原因を人のせいにしてしまうことがあります。自分と他者の心を寄り添うことを大切にします。

夏休み中の皆さんの頑張りの中から2つ紹介をさせてください。

まず、剣道部が玉竜旗、男子団体で5回戦に進出。全国のレベルの高い高校が集う大会での5回戦まで進んだことは快挙です。本当に凄いことです。

次に、新体操部のインターハイでの男子団体です。団体の5人制を本校は4人で臨みました。自分たちの演技を貫き、一糸乱れぬ素晴らしい演技をしてくれました。自分たちの信じた道は間違いなかったことを証明してくれました。

他にも沢山の輝きがありました。地震の後に家の片付けをした人、水汲みに行った人、近所で助け合った人、皆で励まし合った人、コツコツ勉強した人、農場の管理に汗を流した人、全てに輝きがあったと思います。

結びに、3年生は、身に付けた力を発揮して進路実現につながるよう自分の足で歩んでいきます。2年生は、学校の中核として活気と個々の力を出し合っています。1年生は、自分を正しく鍛えて日々の成長を実感していきます。

2学期も全員がワクワクする学校生活を送っていきましょう。